特集❷ 平成29年度 予算案 ～規模とあらまし～

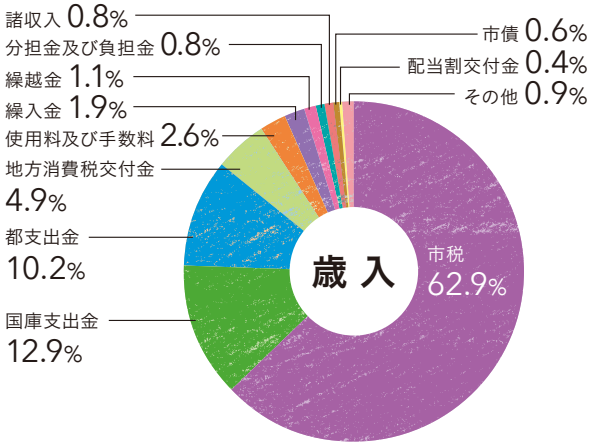
一人ひとりを大切に　多様性を力に平和と自治をはぐくむ予算

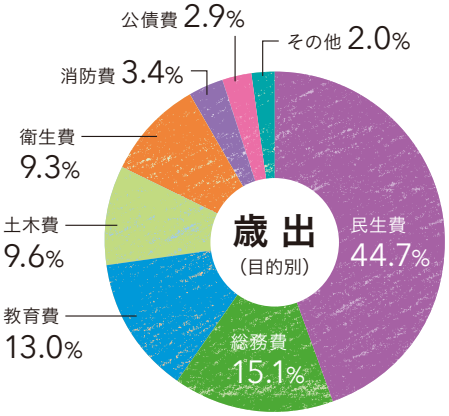
一般会計予算 635億4800万円 ［前年度比 32億1800万円減］

平成29年度の一般会計の予算規模は、前年度比4.8%、32億1800万円減の635億4800万円となりました。第五期長期計画・調整計画の2年目として、事業を積極的に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら、健全な財政運営を維持し、持続可能な市政運営を行っていくため、事務事業および補助金の見直しなどによる経費節減を行い、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本に予算を編成しました。

予算とは、4月から翌年3月の会計年度における収支（歳入・歳出）の見積もりで、当該年度に実施する行政サービスの内容や費用を表しています。地方自治法などに基づいて市議会に予算案を提出し、3月の市議会で審議されます。

一般会計歳入・歳出予算





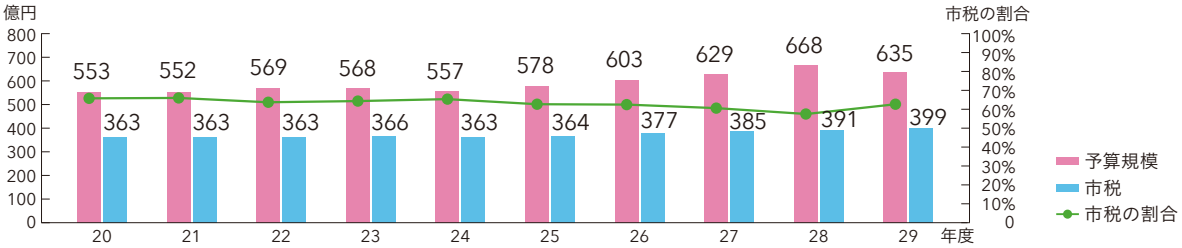
■ 市税の内訳

	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
個人市民税	172億6585万円	168億4650万円	4億1935万円	2.5%
法人市民税	31億1165万円	28億2600万円	2億8565万円	10.1%
固定資産税	155億 285万円	153億5240万円	1億5045万円	1.0%
都市計画税	25億1385万円	25億 280万円	1105万円	0.4%
その他	15億4734万円	15億9620万円	△4886万円	△3.1%
合計	399億4154万円	391億2390万円	8億1764万円	2.1%

■ 主な目的別分類の説明

民生費	社会福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護などの経費、保育園や福祉施設の経費など
総務費	企画、財務、徴税、統計、住民票・戸籍などの経費、庁舎や市民文化会館等の維持管理、人件費など
教育費	市立小・中学校の管理運営、図書館・武蔵野プレイス・総合体育館などの管理運営など
土木費	道路・公園の整備や維持管理、計画的なまちづくりに要する経費など
衛生費	各種検診や予防接種などの保健・医療・健康づくり事業、ごみの収集・処理、公害対策など

■ 一般会計予算と市税の推移



市民1人当たりの予算額 ［ ］は前年度予算

市民の人数
14万3964人
平成29年1月1日現在

1人当たりの予算額
44万1416円
［46万6041円］

高齢者、障害者福祉などのために
11万6590円
［11万8729円］

子育て支援のために
8万4512円
［7万4640円］

学校教育、図書館やスポーツ振興に
5万7285円
［4万9098円］

行政運営のために
4万9139円
［4万 142円］

道路、公園整備などまちづくりに
4万2782円
［4万5320円］

ごみ処理、環境保全のために
2万5142円
［5万 927円］

市民の健康を守るために
1万6844円
［1万6249円］

消防、防災対策に
1万4969円
［1万4704円］

市債（借入金）の返済に
1万3039円
［1万3366円］

文化、コミュニティ、国際交流のために
1万2488円
［3万4604円］

商業振興や消費者保護のために
3671円
［3496円］

市議会運営に
3258円
［3279円］

その他
1697円
［1487円］

基金（市の貯金）の状況

区分	平成29年度末残高見込	平成28年度末残高見込
財政調整基金	61億 178万円	61億 82万円
特定目的基金		
公共施設整備基金	122億5223万円	127億6204万円
学校施設整備基金	104億9171万円	107億3633万円
吉祥寺まちづくり基金	39億4273万円	40億1837万円
公園緑化基金	43億6331万円	43億8117万円
その他	13億2163万円	14億3479万円
下水道事業基金	6億7126万円	5億6257万円
介護給付費等準備基金	4億8981万円	5億3893万円
合計	396億3446万円	405億3502万円

公共施設や学校などの整備・更新の財源として活用するため、公共施設整備基金や学校施設整備基金などを設け、積み立てをしています。

特別会計などを含めた借入（市の借金）の状況

区分	平成29年度末残高見込	平成28年度末残高見込
一般会計	159億6626万円	172億4487万円
下水道事業会計	88億5511万円	88億 175万円
土地開発公社	80億2733万円	81億1630万円
合計	328億4870万円	341億6292万円

道路や公園、学校など長年にわたり使用する施設の建設費や土地購入費の資金を借り入れ、毎年公債費として返済をしています。多額な支出による財政負担を年度間で平準化することと、将来の市民にも公平に費用を負担していただくという考えにより借り入れを行っています。

一般会計歳出予算の主な性質別予算額

区分	平成29年度	構成比率	内容
物件費	155億5641万円	24.5%	物品費、光熱水費、委託料など
扶助費	146億 415万円	23.0%	福祉、医療給付費など
人件費	93億2148万円	14.7%	職員給与、議員報酬など
投資的経費	82億3994万円	13.0%	道路や学校などの施設整備など
補助費等	73億7564万円	11.6%	市民や各種団体への補助金など
繰出金	57億9488万円	9.1%	特別会計などに繰り出す負担金
公債費	18億7708万円	2.9%	借入金の返済など
その他	7億7842万円	1.2%	維持修繕、貸付金、積立金など

会計別予算額

会計名	平成29年度	平成28年度	増減率
一般会計	635億4800万円	667億6600万円	△4.8%
下水道事業会計	28億1671万円	43億5292万円	△35.3%
国民健康保険事業会計	152億9678万円	152億7055万円	0.2%
後期高齢者医療会計	35億 50万円	33億9897万円	3.0%
介護保険事業会計	109億9706万円	105億3880万円	4.3%

水道事業会計予算額

区分	平成29年度	平成28年度	増減率
収益的収入	37億5699万円	37億5652万円	0.0%
収益的支出	36億4666万円	36億2033万円	0.7%
資本的収入	1299万円	3582万円	△63.7%
資本的支出	8億4336万円	9億 16万円	△6.3%

■ 市制施行70周年記念事業一覧

事業名	金額
市制施行70周年記念式典	1036万円
市政功労者交歓会など	282万円
「散歩の達人」の発行	400万円
原付バイクご当地ナンバープレートの交付	134万円
特別展示「うつりゆく人と風景 ── 所蔵作品と写真から振り返る武蔵野市の70年（仮称）」の開催	153万円
平和の集いの開催	23万円
武蔵野アール・ブリュット2017の開催	303万円
武蔵野ふるさと歴史館企画展「中島飛行機関連資料新規収蔵資料展（仮称）」の開催	524万円
武蔵野ふるさと歴史館企画展「歴史公文書からひもとく市制施行周年行事（仮称）」の開催	145万円
保健センター　健康フェスティバル（仮称）	200万円

オリンピック・パラリンピックに向けて

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ2019などの国際大会に向けたスポーツの機運醸成、市民のスポーツ活動への参加支援、障害者スポーツの振興を行う。また、ルーマニアのホストタウンとしてイベントを行う。

● ホストタウン事業の推進 LEVELUP　＊2657万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を展望したホストタウンとしての機運を高めるため、各種啓発事業等を行う。また、武蔵野市と友好都市であるブラショフ市（ルーマニア）との交流のきっかけとなったブラショフ・フィル・ハーモニー交響楽団を招聘し、公演を行う。

● Sports for All イベントの実施　750万円

誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けたイベント名「Sports for All」を掲げてスポーツイベントや講演会、パネル展などを開催する。

Sports for All バレーボール

● 市の魅力再発見・発信事業 NEW　500万円

市民や市内関係団体等とともに武蔵野市の強みや魅力、海外から見た武蔵野市の良さを再発見し、その魅力を国内・国外へ発信していく。

● 運動習慣の定着化促進事業 NEW　300万円

● 実行委員会の設置 NEW　220万円

● オリンピック・パラリンピック教育の推進　540万円

オリンピック・パラリンピック教育推進校として、全ての市立小・中学校においてスポーツに親しみ、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義を学ぶとともに、参加国の歴史や文化を学び国際理解を深め、開催都市にふさわしい国際交流につながる取り組みを行う。

● 利便性向上および観るスポーツ推進のための陸上競技場改修工事 NEW　3億8467万円

陸上競技場のトイレや車いすエリアの改修、チーム室の設置やロッカールーム、ダッグアウト（選手控え室）の改修を行う。バリアフリー化、利用者の利便性向上、「観るスポーツ」の推進を図る。

平成29年度 特徴ある事業

NEW　新規事業

LEVELUP　拡大・充実事業（予算額に「＊」のある事業は、既存事業の金額も含んでいます。）

市制施行70周年記念事業
～平和で文化的なまちを未来へ継承する～

市制施行70周年を祝し、これまでの歴史を振り返るとともに、次世代へ誇りをもって継承できる持続可能な都市を創造していくため、さらなる歩みを続ける。

● 武蔵野アール・ブリュット2017の開催 NEW　303万円

既成の表現法にとらわれずに独自の方法と発想で制作された美術作品（アール・ブリュット）展を開催する。実行委員会方式により事業の企画、運営などを行い、7月7日から10日に吉祥寺美術館などで作品を展示する。

● 「中島飛行機関連資料新規収蔵資料展（仮称）」の開催 NEW　524万円

武蔵野ふるさと歴史館が2年間にわたり開催してきた企画展「戦争と武蔵野」を踏まえ、これまで調査・収集を行ってきた米国国立公文書館における中島飛行機関連の資料と、戦争関連資料の展示などを行う。

● 「歴史公文書からひもとく市制施行周年行事（仮称）」の開催 NEW　145万円

武蔵野ふるさと歴史館所蔵の歴史公文書の中から、市制施行周年行事に関する資料を選別・公開するとともに、「武蔵野市地域映像アーカイブ」の資料とリンクした展示を武蔵野プレイスのギャラリーにおいて展開する。

● 原付バイクご当地ナンバープレートの交付 NEW　134万円

生誕70年を迎えるゾウの「はな子」を象（かたど）ったご当地ナンバープレート（125cc以下の原動機付自転車に限る）を交付することにより、同じく70周年を迎える市制施行を広くPRする。

前回の市制施行記念式典

● **認可外保育施設入所児童保育助成金制度の拡充** LEVELUP
＊1億4099万円

● **居宅訪問型保育事業の実施** NEW　587万円

● **保育士等人材の確保および定着に向けた取組みへの支援** LEVELUP　＊1億9285万円

● **保育コンシェルジュの増員** LEVELUP　＊659万円

一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな入所案内、相談、情報提供を行い、子育て世帯の不安を和らげるため、保育コンシェルジュを増員し、窓口体制を強化する。

● **私立幼稚園預かり保育拡充事業** LEVELUP　＊1396万円

長時間保育を必要とする家庭も幼稚園を利用しやすくするため、夏休み等長期休暇中を含め概ね年間250日、在園児の預かり保育をする幼稚園（市内３幼稚園）に対して、拡充経費を補助する。

子どもの健やかな成長を支えて

● **ファミリー・サポート・センター事業の実施** NEW
1256万円

共助の仕組みを活かして、多様な保育に応えるため、保育施設への送迎や子どもの預かりなどのサポートを実施する。

● **子育て情報発信ウェブサイトの構築** NEW　286万円

● **放課後等子ども施策事業の推進** LEVELUP　＊7億7874万円

あそべえ事業と学童クラブ事業を統括する地域こども館館長の配置や学童クラブ指導員の体制の強化を図る。

① あそべえ事業

学童クラブ事業とともに、武蔵野市子ども協会に運営を委託し、学童クラブとの連携を密にして、放課後等の見守り体制を強化する。

② 学童クラブ事業

長期休業や土曜日などの学校休業日の開所時間を午前８時からに拡大する。正職化による職員の定着化やノウハウの蓄積などにより、児童一人ひとりへの育成を充実する。

● **中高生世代会議（仮称）の試行** NEW　17万円

次代の担い手である子どもの意見を反映する場として、中高生世代会議（仮称）を大学生などの協力を得ながら試行する。

子どもの学びへの支援

● **高等学校等修学支援** NEW　1296万円

経済的な理由により高等学校などへの進学が困難な方への支援として、高等学校等入学準備金および修学給付金の制度を開始する。

● **就学援助費の入学前支給** LEVELUP　327万円

経済的な理由により就学が困難な方への支援として、小・中学校において学用品費の購入など入学準備に費用がかかる入学前に新入学児童生徒学用品費（入学準備金）を支給する。

● **学習支援事業**　243万円

貧困の連鎖を断ち切ることを目的とし、小学校３年生から中学校３年生を対象に、基礎学力の向上を目指した補習教室を行う。

健康・福祉

誰もが地域で安心して暮らし続けるために

● **旧山﨑邸活用事業** NEW
～新たな高齢者支援・子育て支援の拠点整備～　3848万円

名誉市民である故山﨑倫子氏から遺贈された住居について、１階は北町高齢者センターのデイサービスを拡充し、２階は子育てひろばとして乳幼児親子が集う場を新たに整備する。北町高齢者センター30周年にあわせて開設式典を行う。

● **いきいきサロン事業** LEVELUP　＊834万円

高齢者の社会的孤立感の解消と健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域で在宅生活を送れるよう、高齢者の集う場を開設・運営する団体に対して支援を行う。

いきいきサロン

● **シニア支え合いポイント制度の拡充** LEVELUP　＊386万円

● **在宅医療・介護連携推進事業**　835万円

● **摂食嚥下（えんげ）支援事業** NEW　119万円

特養入所者等に対して摂食嚥下機能の評価と、歯科医師や介護職等多職種によるカンファレンスを実施する。

● **高齢者・障害者施設の防犯対策の充実** NEW　900万円

特別養護老人ホームや障害者グループホームなどを安全に管理し、入居者が安心して生活できるよう、防犯カメラなど防犯設備を整備する運営法人に対して経費の一部を補助する。

● **第３期健康福祉総合計画（個別計画）の策定**　2585万円

● **障害者支援施設の開設支援** NEW　4億3206万円

吉祥寺北町５丁目（現在の吉祥寺北町放置自転車保管場所）に障害者支援施設を建設する社会福祉法人武蔵野に対して、建設費の補助・建設用地の貸付などによる支援を行う。施設はショートステイを含む定員40名規模の入所施設として、平成30年度末に開所予定。

● **発達障害者への支援の充実** LEVELUP　631万円

● **精神障害者グループホームの開設支援** NEW　387万円

● **妊娠から子育て期の切れ目のない支援** LEVELUP　＊2億2343万円

保健師などの専門職がチームを組んで妊産婦とその家族の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力しながら、妊娠から子育て期の切れ目のないきめ細かな支援を実施する。

● **がん検診等事業の推進**　1億3793万円

● **第３期特定健康診査等実施計画の策定**　300万円

子ども・教育

保育と幼児教育の多様なニーズに対応

● **平成30年４月 認可保育所５園、認証保育所３園の新規開設** NEW　9億1847万円

平成30年４月の待機児童解消に向けて、認可保育所５園の新設を目指す。また、13時間開所等を望む就労家庭などの多様なニーズに対応するため、認証保育所３園の新設を目指す。

平成29年４月開所の「キッズガーデン武蔵野関前」増築棟イメージ

●男女平等施策の推進 2220万円

男女平等の推進拠点である男女平等推進センター「ヒューマンあい」において、各種講座の開催、情報収集・発信、団体支援、相談事業を実施する。また、男女平等の推進に関する条例に基づき、市民とともに施策を総合的・計画的に推進していく。

まちの賑わいと活力づくり

●井の頭恩賜公園開園100周年記念事業 NEW 968万円

平成29年５月に開園100周年を迎える井の頭恩賜公園を祝して、記念イベントを実施・支援する。

・５月３日「武蔵野の日」記念イベントの実施
・５月３日・５日 ランニングイベント、コンサート、ドッグイベント、トークショーなどの開催支援
・井の頭公園100周年記念講演会

●吉祥寺「はな子」像の披露 NEW 100万円

井の頭自然文化園のアジアゾウ「はな子」の像を吉祥寺駅北口駅前広場に設置するため、吉祥寺「はな子」像設置実行委員会が募金を呼びかけ制作された銅像が市に寄贈されることから、５月５日に行われる銅像のお披露目に対して支援を行う。

●観光振興事業 7970万円

●創業支援 1712万円

平和の大切さを次世代へつなぐ

●平和啓発事業 554万円

戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくため、平和の日のイベントの一環として、市立はらっぱむさしのにおいて平和の集いを行う。また、戦争体験者からの聞き取り調査を実施する。５月に憲法月間記念行事を行う。８月には中高生を青少年平和交流派遣団として長崎市へ派遣する。

青少年平和交流派遣団

●「中島飛行機関連資料新規収蔵資料展（仮称）」の開催 NEW 524万円

災害への備えの拡充

●非構造部材（特定天井）耐震化事業 4億1130万円

※特定天井…天井高６ｍ超かつ面積200㎡以上の吊り天井

① 小・中学校
・第三小学校第２体育館、桜野小学校体育館、第二中学校体育館
② 総合体育館
・メインアリーナ・サブアリーナ

●消防団第４分団詰所の改築 NEW 6325万円

仮設工事：平成29年７月から／本設工事：平成29年12月から

●災害対策用器具機材、備蓄食糧の充実 LEVELUP 3276万円

・緊急医療救護所の機能を強化するため、エアーテントとガス発電機を整備する。
・避難所に、簡易トイレ、飲料水袋、アレルギー対応の食糧等を新たに整備する。
・帰宅困難者の民間一時滞在施設へ、備蓄品（水、クラッカー、簡易トイレ、アルミックシート）を新たに整備する。

●配水管網整備の推進 3億 257万円

確かな学力と個性を伸ばす教育

●学習活動でのICT機器の積極的な活用・整備 LEVELUP 2億8769万円

① 無線LAN環境の整備およびタブレットの導入

小・中学校に校内無線LAN環境を整備し、全ての普通学級に教員用タブレットを１台ずつ導入する。また、特別支援教室および難聴通級指導学級に児童・生徒および教員用タブレットを導入する。

タブレットを活用した授業

② PC教室用機器の更改

パソコンをデスクトップ型からタブレット（各校41台）に更新し、PC教室だけでなく普通教室においても活用することができる環境を整備する。

●地域の中で推進する特別支援教育 LEVELUP 8976万円

〈平成29年4月開設〉
① 第三小学校に知的障害学級「ひまわり学級」を開設
② 小学校全校に特別支援教室を開設

特別支援教室の授業の様子

●小中一貫教育の検討 96万円

文化・市民生活

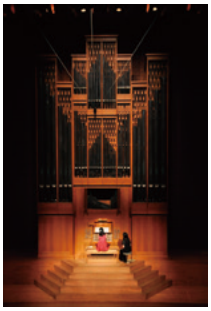
市民文化の醸成と多様な学び

●文化振興基本方針（仮称）策定 LEVELUP 551万円

●市民文化会館リニューアルオープンと国際オルガンコンクールの開催 LEVELUP 767万円

市民文化会館のリニューアルオープンを迎え、見学会、ワークショップや記念コンサートを行う。

また、国内外の優秀なオルガン演奏家を見出し、その育成と国際交流の推進を目的に第８回国際オルガンコンクールを開催する。


オルガンコンクール

●吉祥寺図書館リニューアル LEVELUP 4億1920万円

ニーズの高い蔵書および閲覧環境の充実やICT活用によりさまざまな世代に対するサービスの質的・量的向上を図るため、平成29年度に改修工事を行い、平成30年４月に開館する。

吉祥寺図書館

●むさしのサイエンスフェスタの開催 252万円

多様性を活かせるコミュニティづくり

●コミュニティ活動の推進 LEVELUP ＊5億2137万円

16のコミュニティ協議会によるコミュニティセンターの管理運営を支援し、利用者の安全確保のため窓口２名体制を図る。バリアフリー化を進めるため、御殿山コミュニティセンターへのエレベーター設置に向けた設計を行う。

都市基盤

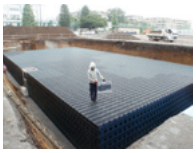
水循環都市の構築

● **浸水対策および地下水への涵養** 2億4735万円

① 千川小学校および市道第135号線（桜堤地区）に雨水貯留浸透施設を設置

② 雨水浸透桝や雨水タンクなどの設置費用の一部を助成

③ 透水性舗装工事（市道第135号線、市道第100号線）および道路雨水ます浸透化工事（市道第67号線）



雨水貯留浸透施設

● **臭気抑制対策助成事業** 1350万円

● **女子大通り幹線管きょ更生工事** 2億8084万円

● **下水道総合計画の見直し** 800万円

● **下水道ストックマネジメント計画策定** NEW 1706万円

個性豊かな三駅周辺のまちづくり

● **吉祥寺グランドデザインの改定** 712万円

エリアごとの議論を中心に、これからの吉祥寺ブランドとまちづくりの方向性を定めるため、策定から10年が経過する「吉祥寺グランドデザイン」の改定を２カ年（平成29～30年度）で行う。

● **三鷹駅北口街づくりビジョンの実現に向けた検討** 690万円

● **三鷹駅北口周辺の駐輪場再編** 7751万円

● **武蔵境市政センターの移転** 8643万円

まちの賑わい創出と魅力の向上のため、武蔵境駅北口市有地有効活用事業を進めている。市民サービスの充実のため、新たな施設内に武蔵境市政センターを移転し、現センターは解体・撤去する。

快適で美しい都市空間の創出

● **景観まちづくりの展開 ～市民向け景観まちづくりの手引き作成など～** 392万円

● **景観道路事業** 4億 800万円

良好な都市景観の創出、安全で快適な歩行空間の確保、防災機能の向上を図るため、道路・電線共同溝の整備推進を図る。

三鷹駅北口の補助幹線道路（市道第293号線）

● **自転車走行環境づくり** NEW 4432万円

自転車や歩行者等がより安全に利用できる路線を整備するとともに、安全教育の充実を図る。

行・財政

市民参加と市政運営

● **自治基本条例（仮称）の検討** LEVELUP 369万円

● **公共施設等総合管理計画の推進** LEVELUP 275万円

● **住民票・税証明等のコンビニ交付の開始** NEW 1685万円

市の予算に関する資料は、市役所市政資料コーナーやホームページなどでご覧いただけます。

安全・安心な住環境

● **民間住宅等耐震化支援事業** LEVELUP 1億 891万円

平成32年度末までに住宅の耐震化率95％の達成を目指し、民間住宅等の耐震化助成を都内トップレベルに拡充し、耐震化を促進する。

● **緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業** 4億9911万円

● **分譲マンション管理・再生等支援事業** 110万円

● **空き家対策の実施** NEW 2041万円

空き家・管理不全住宅等の実態調査を行い、空き家等対策協議会（仮称）を立ち上げ、管理が不十分な空き家の予防、適正管理・利活用を含めた総合的な対策計画を策定する。

緑・環境

緑豊かなまちを次世代へ

● **緑と水のネットワーク事業** 5億8799万円

① 公園等建設事業（グリーンパーク緑地の拡張や桜橋公園の改修など）

② 千川上水整備事業

③ 仙川水辺環境整備事業

ゆりのき公園

● **水の学校事業** 250万円

● **緑の基本計画検討委員会設置** 453万円

「スマートシティむさしの」を目指して

● **エネルギー地産地消都市の構築** LEVELUP 2090万円

① 効率的なエネルギー活用推進助成事業

② 武蔵野油田事業（食用油の回収）

③ 太陽光発電システムの設置可能性および点検調査

④ 公民連携による環境設備普及の研究

⑤ エネルギー地産地消の啓発

● **環境啓発施設「エコプラザ（仮称）」の整備検討** 548万円

クリーンセンター新施設の本格稼働

● **武蔵野クリーンセンター建設事業および周辺整備事業** 6億8338万円

４月１日に新施設が本格稼働する。今後20年間の運転管理等の運営を委託する。旧施設の解体工事を安全に進めていく。新施設を核とした周辺地域のより良いまちづくりを実現する。

解体する旧施設（左側）と本格稼働する新施設（右側）

● **クリーンセンター新施設からの熱源活用** 予算削減額 2億2540万円

クリーンセンター新施設に導入したごみ発電による電気を市庁舎、総合体育館、緑町コミセンに供給するとともに、施設稼働電力にも充てることで電気料を抑制する。また、余った電気は売電する。

● **ごみ収集総合的検討事業** 1332万円

ごみの収集頻度や分別区分の変更についての具体案をまとめる。